

2023年11月13日

年末はSDGsなギフトを選びたい。

「インドの伝統衣装サリーで作ったアップサイクル雑貨」を楽しもう

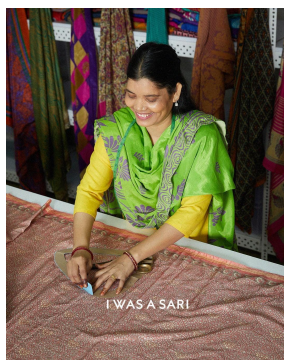
《11月17日～1カ月間、幕張 蔦屋書店でポップアップ出店》

使うだけで「女性の雇用創出・ゴミ削減・おしゃれ」が叶う。

エシカリージャパン合同会社(代表: 中川 雅里名、東京都中央区)はインドの伝統衣装サリーをアップサイクルして作ったエシカルブランド【I was a Sari】<私はサリーだった。>のアイテムを11月17日(金)～12月17日(日)の1カ月間、幕張 蔦屋書店にてポップアップ出店します。

これは日本出版販売株式会社(代表取締役社長: 奥村 景二、東京都千代田区)が出版業界として取り組むべきエコ活動を企画・支援する「ONE ECO PROJECT」の活動の一環として参画するものです。

■アップサイクルとは？今あるものを利用して新たな製品に作り替え、付加価値を与えること



1. 日本もインドも「衣類の大量廃棄」が社会問題になっている

日本で不要になった衣類の66%は、焼却・埋立されています。その量は年間48万トン。大型トラック約130台分を毎日焼却・埋立している計算です。(※)一方インドでは町の至るところにゴミが放棄されており、社会問題の一つとなっています。サリーで作った製品は、ファッション業界の環境負荷軽減に貢献します。

※環境省、令和2年度ファッションと環境に関する調査より

2. サリーのアップサイクルを広め、SDGsに貢献したい



▶目標1「貧困をなくそう」目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

インドでは今も生まれた場所で一生が決まってしまう人が多く、下層階級の女性は「家にいるもの」が当然と考えられています。アップサイクルの雇用を創ることで、現在250人の女性職人が給与を得て医療・教育も受けられています。



▶目標12「つくる責任つかう責任」



ファッション産業における大量消費・大量生産の現実を知り、アップサイクルを生活に取り入れる第一歩になります。

▶目標13「気候変動に具体的な対策を」



すでに存在するサリー布を活用しているため、製造(布地の生産や染色)におけるCO2排出量・水使用量を大幅に削減することができます。

3. ポップアップ詳細

■開催日: 11月17日(金)～12月17日(日) 10:00～21:00

■開催場所: 幕張 蔦屋書店(千葉県千葉市美浜区豊砂1-1 イオンモール幕張新都心グランドモール1階)

■アクセス: JR京葉線「幕張豊砂駅」直結

■ブランド名: 「I was a Sari」(アイ・ワズ・ア・サリー)

■オンラインショップ EJ the shop: <https://ethically.theshop.jp/>



4. ONE ECO PROJECTとは



「ONE ECO PROJECT」は、“楽しみながら行うエコ活動こそが持続可能なものである”との考えから、出版業界の財産ともいえるコンテンツやキャラクターの魅力を通して、生活者にとってエコ活動が身近なものになり、活動への理解を深め、参画を促すことを目的とした日本出版販売株式会社の活動です。「ONE ECO PROJECT」公式サイトでは、生活者にとってエコ活動が身近なものになり、活動への理解を深め、参画を促すことを目的として、様々な情報を配信しています。

公式サイト: <https://oneeco.jp/>

5. 会社概要

エシカリージャパン合同会社、2023年4月設立。「世界と日本をエシカルでつなぐ」をミッションに掲げ、エシカル製品の販売・ソーシャル活動の広報支援・教育業を展開します。

【本件に関するお問い合わせ先】

会社名: エシカリージャパン合同会社

代表: 中川 雅里名

住所: 〒104-0061 東京都中央区銀座1-12-4N&E BLD.7階

TEL: 050-3126-5495

メールアドレス: info@ethicallyjapan.com

URL: ethicallyjapan.com

【「ONE ECO PROJECT」に関するお問い合わせ】

日本出版販売株式会社 文具雑貨商品本部 文具雑貨MD課

E-mail: hmmm-official@nippan.co.jp
